

令和7年度第1回上郡町行財政組織等審議会 議事要旨

- 1 日 時 令和7年9月22日（月）10時00分～11時30分
- 2 場 所 上郡町役場 第1委員会室
- 3 出席者 （委員）荒木 西佳、浦山 剛史、加藤 明、瀧元 一、中川 裕美子
（町長）梅田 修作
（事務局）木村企画広報課長、石原参事、杉山係長、塩尻主査

4 概要

- (1) 開会
- (2) 町長挨拶
- (3) 委嘱状交付
- (4) 会長選出
加藤明委員を選出
- (5) 会長挨拶
- (6) 議事

ア 「第7時行政改革大綱に基づく推進計画の進捗状況について」事務局より説明

（委員）

民間企業や大学等との連携で具体的に進めていることはあるか。

（事務局）

令和4年度から瀬戸内サニー株式会社と連携協定を結んでいる。今年はトライやるウィークにてSPring-8へ行き、学者やセンター長にインタビューし、その様子を撮影し動画編集したものをYouTubeに投稿した。

令和5年度から早稲田大学との連携協定を結んでいる。「きとラボ」という駅前の町有建物で早稲田大学佐藤教授の下、各回テーマを設定し、そのテーマについて一般参加者が自由に語り合う「未来セッション」を行っている。

出版取次会社である「株式会社トーハン」とも本を通じた連携事業を進めている。

（委員）

AIについて、申請書や簡単な文章でもAIに作成させていることはよくあるが、活用にあたっては色々と試してみなければ使い方を習得しにくい。ある程度の仕事内容であれば活用していった方が良い。

(事務局)

計画書などの作成に AI を使いこなしている職員もいるがまだまだ全体には浸透していないので職員向けの研修等は必要だと思っている。

RPA も定型的な入力が発生する健康福祉課や税務課などで進めているところなので継続的に取り組んでいきたい。

イ 「第 8 次行政改革大綱（骨子案）について」事務局より説明

(委員)

児童数の推移は政策検討において重要なのでしっかりと把握しておくべき。

10 年後に児童数は大きく減ると言われている。町の存続にも繋がることであるのでどうしていくのかを考えなければならない。

(委員)

町の人口の目標数値は。

(事務局)

現在、検討中。社人研数値より増加を目指す。

(委員)

上郡町の魅力（自然、農業、観光、鉄道アクセス等）特化するもの、核になるものが必要かと思う。

(委員)

骨子案に職員の効率的な配置をしつつ時間外勤務の縮減をするとあるが具体的にどのように進めるのか。

(事務局)

現在、住民にマイナンバーカードを利用した証明書等コンビニ交付サービス（住民票の写し、印鑑証明書等）や AI チャットボットを活用いただいている。このような従来、職員が電話や窓口で対応してきた部分を AI や RPA を活用することによって、本当に職員が対応しなければならない業務に注力できるようにし、時間外の縮減やワークライフバランスの確保に繋げていきたいと考えている。

ウ 「第 8 次行政改革大綱策定スケジュールについて」事務局より説明

次の審議会において計画骨子をもとに作成した大綱及び推進計画の素案を審議いただく。12月頃開催予定。特に意見なし。

(7) 閉会